

## 既存建築物において複数の専門工事（単独では対象外となっているもの）の施工管理を行った場合の申告書

申請日	令和      年      月      日
申請者名	

私は建築士免許登録の申請を行うに当たり、以下の既存建築物で複数の専門工事について施工の技術上の管理を実施したことを申告します。

・記載する複数の専門工事は、令和2年3月1日以降の例示コード表(Cコード)において単独で実施した場合に対象外と整理されているものに限り、また、実施した複数の専門工事が建築一式工事として届出を行っている場合は申告書の記載・提出の対象外です。

・この申告書の記載・提出は、工事範囲(取合い)又は工事期間が重複した結果、専門工事間の工程等の調整を図る必要があった場合に限り、また、実施した複数の専門工事が建築一式工事として届出を行っている場合は申告書の記載・提出の対象外です。

・NO1～8には、実務経歴書に記載した実務(1)～(8)のうち、例示コード表で対象外となっている工事(建築一式工事または規定の専門工事以外)を記載してください。実務の実施期間が1ヶ月に満たない実務を複数行った場合は、「Ⅰ 対象物件の名称等」に「〇〇邸 他〇件」等と記載し、Ⅱ以下には、主とする〇〇邸の物件所在地及び実施内容等を記載してください。

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
NO	対象物件の 名称等	対象物件の所在地	実務経験工期	施工管理を行った複数の 専門工事	複数の専門工事の施工管理を行うに当たり工事間の調整 等に関する事項	専門工事の施工管理を行う際に参 照した資料
記入 例	〇〇邸、A邸 等  【注】実務経歴書 と同一の物件名を 記入してください。	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁 目〇番地  【注】実務経歴書と同一 の所在地を記入してくだ さい。	令和4年1月～令和4年3月  【注】着工から完工までの 実際の工期を例に従って記 入してください。	屋根工事・塗装工事及び 防水工事、等 建設業許可毎に記入  【注】申請者が実施した工 事を建設業許可の対象別に 記入してください。	◆全体工事の計画立案、各工事の工程管理・施工手順・施工内容の 検討・確認・実施。 ◆各工事の品質管理の検討・確認・実施。 ◆居住者及び近隣への工事内容の説明の検討・確認・実施。 ◆危険防止・安全管理の対応方法の検討・確認・実施等  【注】複数の専門工事を行うにあたり、工事間で行った検討・確 認・実施した調整に関する事項を記入してください	新築時の設計図書、 改修工事の際に作成した施工図 等  【注】専門工事の施工管理を実施するに際 し参照した資料を記入してください。
1						
2						

	I	II	III	IV	V	VI
N0	対象物件の 名称等	対象物件の所在地	実務経験工期	施工管理を行った複数の 専門工事	複数の専門工事の施工管理を行うに当たり工事間の調整 等に関する事項	専門工事の施工管理を行う際に参 照した資料
3						
4						
5						
6						
7						
8						